

# 道の駅を切っ掛けに、観音寺市の未来へ



道の駅「かんおんじ」（仮称）のために、たくさんの市民の方々にお集まり頂きました

**良い点・課題点  
シンプルな問い合わせ**

香川県観音寺市は交通アクセスに恵まれた立地を活かして、中四国最大級の新しい道の駅「かんおんじ」（仮称）を計画しています。現在は、ちょうど社会館（豊浜町）付近を建設候補地として基本構想をとりまとめ、具体的な検討を進めています。

道の駅に市民から大きな期待が寄せられる一方で、様々な意見があることも事実です。人口減少と少子高齢化が急速に進むなかで、いちばん大事なことは「これからもずっと観音寺市に住み続けたい」ことに尽きます。限られた資源・人材・財源で、未来を拓くには、官ど民の連携が欠かせません。そもそも行政は商売が得意ではなく、出来ることにも限界があります。道の駅では市民の皆さまの積極的な参加、とくに「自分ごと化」が不可欠です。そこで、市民の皆さまが道の駅に対し本当に望んでいるコトやモノはなにか？直接教えて頂きたく「市民アイデア会議」を開催しました。

## 道の駅新聞

開催日：令和5年（2023年）9月30日土曜日  
発行元：観音寺市 政策部プロジェクト推進課

改採たべ 自道の駅は多機能化が進んでおり、道案内・情報発信・休憩・地域連携に加えて、特産品の販売・飲食、最近で音寺市のショールームをつくるようす。  
改善・解かり入れ、課題点は道の駅整備によります。良い点を業がこれから始まります。まずは道の駅をどうするか？よりも、自分たちの観音寺市について、変えるべき課題点と、大事にすべき良い点をたくさん挙げて頂きました。【第二面に詳細】  
安定した集客のために、市外からの観光客のみならず、観音寺市民の日常生活がこれまでに大きく変わっています。

暑さも和らいだ9月30日土曜日、ハイスタッフホールには七十名ほどの市民が集まりました。小学生から乳児代から、道の駅の完成が待ち遠しい人々に興味がある人、あるいは道の駅整備にどちらかと言うと賛成ではない人など様々な意見の市民が集まりました。市民アイデア会議では、限られた時間内でより多くの市民の声を頂きます。クを行き渡らせ、「言いたいことを自由に発言」して頂けるよう、司会・運営者側は心掛けました。ただし、お一人様でお話し過ぎないようルールの徹底をお願いしました。

## 言いたいことを 言ってください

### 観音寺市全体の良い点・大事にすべき点

#### 祭りが好き

美しい景色・豊かな自然  
海・山・田園・文化その全てが揃っている

#### アニメ「ゆゆゆ」の舞台 大平原首相の出身地

観音寺市はアニメ「結城友奈は勇者である」の舞台 大平正芳元内閣総理大臣は観音寺市豊浜町出身

#### 子ども向けサービス充実

大きな屋敷が多い 子育て支援施設等は充実している

#### ちょうさは地域の誇り

農業・漁業・食品加工が自慢  
レタス、いりこ、ちくわ、おりい、梨など唯一無二

#### いりこ・観音寺まんじゅうは美味しい特産品

伊吹島産いりこは全国区のブランド、観音寺まんじゅうは間違いない手土産

#### 市内で就労・買い物・医療すべて揃う

大型医療施設も整い、買い物にも困らない、コンパクトな街で色々便利

#### 若い人たちのマルシェ

観音寺まちなかマルシェはとても魅力的

#### 物価が安い

家賃も安く、住みやすい

#### 車・道路が便利

高速道路・バイパスが整備されて便利

#### 市民が人懐っこい・穏やか・優しい

地域コミュニティが強いせいか、移住者に対しても優しい

#### 地域を誇りに思う人が多い

祭りのおかげか、地元観音寺市を誇る人が多い

開催日 2023年（令和5年）9月30日午後

場所 ハイスタッフホール 多目的ホール

来場者数 約70名（小学生～80代のお年寄りまで幅広い世代）

実施方法 道の駅基本構想（概要版）を説明し、4～6名のグループごとに雑談して頂き、「どんな話題が出ましたか？」と聞いて得られた主な回答が上述の通りです。なお、当日に会場にて出された意見を可能な限りそのまま掲載しており、すべて個人の意見・感想です。個別商品名等もそのまま掲載しています。

### 観音寺市全体の課題点・変えるべき点

#### 何もない

コレと言った特徴や名所がない

#### 人口も観光客も少ない

人口が減少し続けており、そもそも観光客は少ない

#### 街に変化がない

何か街に変化もない

#### 若者の市外への流出

進学・就職等で四国外へ転出、帰って来ない

#### 子ども向け遊び場が少ない

小中学生向けプール等の施設が少ない、意外に緑も少ない 市街地の街路樹が少ない

#### お年寄り向け交流の場が少ない

会合・対話の場が少ないと感じる

#### ちょうさの魅力が伝わっていない

全国的に有名とは言い難い

#### PRが下手

情報発信不足

#### うどん屋以外の飲食店が少ない

買い物は観音寺市以外またはネット通販

#### 市街地に賑わいがない

シャッターが閉められたままの店舗が多い

#### 宿泊施設が少ない

近隣地域のベッド数では琴平や高松が圧勝

#### 車なしの生活は無理

駅から家が遠い、鉄道・バスは不便

#### 観光地が乏しい

こんびらさんや道後温泉と比較すると魅力度が低い

#### 市民が閉鎖的・保守的

市外からの移住者に対して排他的で馴染み難い

#### 旧来のコミュニティに入り難い

閉鎖的な市民が多く、馴染みにくさを感じる

#### 市そのものが付度

チャレンジが難しい市なのでは

#### 市役所の雰囲気・職員が暗い

市が何をやっているのか？市政を知る機会が少ない

# 市民一人ひとりの「自分ごと化」が未来につながる

基本理念までは決定していますが、具体的な内容・機能等はこれから検討します。その基礎として、市民アイデア会議にて市民の皆さんと一緒に活発な議論が交わされました。自由にご発言頂いている中で、「道の駅には、どんな機能が欲しいですか?」とお伺いしました。予算や法令等に合わないアイデアも含まれていますが、下記の通り活発な議論が交わされました。

新「道の駅」の基本理念



【観音寺市新「道の駅」基本構想より抜粋】

道の駅の基本的な機能



【国土交通省資料等を参考に作成】

道の駅は1993年に旧建設省と地方自治本部が協力で始まり、今年8月の時点で日本全国千ヶ所以上が登録されています。当初は防災拠点（備蓄・救援支援等）と地域連携機能が重要視されるようになりました。観音寺市内には既に2ヶ所の道の駅が存在していますが、周辺環境の関係で拡張性がなく、近隣の道の駅と比較して競争力・集客力等に課題点が多くあります。観音寺市が策定した道の駅に関する基本構想では、市民の日常利用と産業振興、人材育成をコンセプトとして定めています。行政が事業を圧迫するのではなく、市民・民間事業者と行政との新しい関係を築こうとしています。

## 道の駅に

★★★  
高速バス延伸  
パーク & ライドの拠点化

★★★  
JR 豊浜駅の移設  
調整事項が多く難易度高

★★★★★  
公共交通の結節点  
バス（路線・高速）・鉄道の結節ハブ化

★★★★★  
体験施設  
農業・料理など体験できる仕掛け

★★★★★  
イベント舞台  
和太鼓が披露できる

★ 消防団の訓練場  
地域イベントも見せる

★★★★★  
コインシャワー  
車中泊など格安旅行に便利

★★★★  
オートキャンプ場  
車中泊など格安旅行に便利

★★★★★  
ふるさと納税返礼品の受付  
手にとってその場でふるさと納税と返礼品受取

★★★★★  
日常の練習・訓練も見せることは大事です  
ウィーン正月コンサートは練習も見れます

★★★★★  
祭りの練習場  
練習段階から見せる

★★★★★  
定期市場・フリーマーケット  
市民のチャレンジを促す店舗

★★★★★  
美味しいパン屋  
うどん、だけじゃない集客力のあるパン屋  
★★★  
地元工場のアウトレット  
ユニ・チャーム、テーブルマーク等

★★★★★  
クリニックモール  
三豊総合病院との連携

★★★  
足湯  
定番

★★★★★  
唯一無二のうどん屋  
既存うどん店舗とカブらないうどん店

★★★★★  
いりコロッケ  
コロッケ+伊吹島産いりこで勝負

★★★★★  
大屋根広場  
悪天候でも半屋外で遊べる広場

★★★  
貸し農園  
定期的に来て頂こう

★★★  
ドッグラン  
香川県は飼い犬飼育率全国1位  
(厚生労働省調べ・令和元年)

★★★  
ミニ牧場  
羊など

★★★★★  
子どもが遊べる広場  
保護者が気を使わなくとも良い、安全安心の空間

★★★★★  
木陰  
観音寺市は街路樹が少ない

観音寺らしさの追求は大事

★★★  
砂絵の大迷路  
観音寺だから実現可能

★★★★★  
児童館  
地域の日常使い

★★★  
展望デッキ  
電車を見たいニーズ

★★★★★  
コワーキング  
一時利用も可能なシェア・オフィス  
★★★  
大学授業等のサテライト教室  
学びの空間

が欲しい

【注】★=同一意見の多さを示す。

## 市民の熱意に感謝



長丁場となりましたが、最後まで会場は各テーブルごとに熱心な議論が交わされました

当日は多くの市民の方にご参加いただき誠にありがとうございました。様々な世代・立場から、幅広い市政に対する強い想いをいただきました。そのためには、官と民との連携は欠かせません。人口減少に起因する様々な影響を縮小緩和し、観音寺市が未来へ躍進するためには、地域経済の活性化などに大きく寄与する新「道の駅」の整備が必要です。この市民アイデア会議を通じて、市民に必要とされ、愛され続ける「道の駅」の整備をめざします。

## 市民から愛される道の駅を目指して

## 私なら

### 着物の手縫いイベント

小物づくり一緒にやりましょうよ

### ゴミ拾い清掃

いつでもキレイにしますよ

### 体験系イベント

観音寺市内の企業とコラボしますよ

呼び込み販売  
屋台・キッチンカーも出しますよ

イベントプロデューサー  
観音寺市どんどん宣伝しますよ

海上タクシー  
伊吹島ツアーやりますよ

できます

道の駅オープン後、私なら「こんな参加・協力できます」を募集したところ、たいへん心強いお声を頂きました。感謝申し上げます。

観音寺市民アイデア会議へのご参加、ありがとうございました。引き続き、お付き合い頂ければ幸いです。

A WORKSHOP FOR A NEW ROADSIDE STATION, FACILITATION AND GRAPHIC DESIGNED BY YASUYUKI KAWANISHI + ICHIBANSEN / NEXTSTATIONS, KANONJI, KAGAWA JAPAN SEPTEMBER 2023